



6位入賞を喜ぶ阿久比町チーム

「スタッフの皆さんを含め、それぞれが一生懸命に頑張ったから一本のタスキをゴールまでつなげることができました」と、アンカーを務めた平井慎太郎さんは、ゴールしてから仲間の待つ控え席に戻る途中、さすがらしい表情で話していました。

チームを率いた鈴鹿敦監督は「寒中、皆さんベストを尽くし、よく頑張ってくれました。三年連続入賞を果たせてよかったです」と選手たちの健闘をねぎらいました。

# 町村の部 6位 “健闘”万博駅伝

愛知万博メモリアル第5回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が12月4日、愛・地球博記念公園（長久手町）で開かれ、町を代表して出場した9人の選手たちはタスキをつなぎ、町村の部で6位（20チーム中）と健闘。3年連続入賞を果たしました。

# 3年連続入賞



駅伝は公園内の九区間二九・七キロ。周回コースで行われ、県内五十七市町村が市と町村の部に分かれて、小学生から大人まで年齢別（男女混合九人）にチームを編成して健闘を競いました。

世代を超えて、それぞれの思いをタスキにつないだ万博駅伝。三年連続入賞の六位という結果は素晴らしい成績です。阿久比チームの皆さんお疲れさま。



## おめでとう

### 佐藤 倭君区間賞

第六区小学生男子の部で佐藤君東部小六年が区間賞を獲得しました。二カ月前に韌帯（じんたい）を痛めて、出場が危ぶまれましたが、そのけがも見事に克服し、大会に臨みました。

「みんなの声援がうれしかったです。最高の走りができたと思います」と喜びの感想を少し照れながら話していました。

